



# 外国語教育メディア学会 (LET)

The Japan Association for Language Education & Technology (LET)

## 第57回全国研究大会

The 57th National Conference

外国語教育の未来：アクティブラーニングの資するもの

The Future of Language Education:  
How Active Learning can Contribute

主催：外国語教育メディア学会 (LET)

The Japan Association for Language Education & Technology (LET)

後援：文部科学省・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会（申請中）

The application for sponsorship (in process) to the Ministry of Education,  
Culture, Sports, Science and Technology, Aichi Prefecture Board of Education,  
and Nagoya-city Board of Education

期日：2017年8月5日(土)～7日(月)

Saturday, August 5 - Monday August 7, 2017

会場：名古屋学院大学名古屋キャンパス・白鳥学舎

Nagoya Gakuin University Nagoya Shirotori Campus

## ご挨拶

## Greetings



外国語教育メディア学会会長 President of LET  
柳 善和 Yanagi Yoshikazu  
(名古屋学院大学) (Nagoya Gakuin University)

第57回全国研究大会(LET2017)の開催にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

今年も暑い夏がやって来ます。今年は名古屋での開催となり暑さもまたひとしおではないかと思ひながら、しかし全国研究大会の開催を心待ちにしておりました。毎年この時期に、様々なメディアを通じて活発に交流を図っている先生方が、実際に会って日頃の成果について意見交換することは今でも十分に意義のあることだと感じています。

今年の大会テーマは「外国語教育の未来：アクティブラーニングの資するもの」です。教育界全体が、今、「アクティブラーニング」で話題沸騰です。思えば外国語教育で私たちが積み重ねてきたことは、まさに「アクティブラーニング」を含むものであり、今さら感も漂います。しかし一方で、これまでの私たちの成果を未来につなぐために、ここで「アクティブラーニング」を軸にして、議論してみるのも興味深いことではあるでしょう。

今回の全国研究大会は、私の勤務校である名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎を会場として開催されます。2007年に愛知県瀬戸市から現在のキャンパスに移転して以来、実に3回目の開催となり、たいへん光栄に思っております。大会でご講演をしていただく松本茂先生、バトラー後藤裕子先生、ワークショップをご担当いただく先生方、展示にご協力いただきました賛助会員の皆様、そして研究発表をしていただきます先生方、ご協力ありがとうございます。これまで全力を挙げて大会準備に取り組んでいっしやいました、大会開催支部長の高橋美由紀先生、大会事務局長の西尾由里先生をはじめとしたLET中部支部の大会実行委員の先生方に感謝いたします。どうもありがとうございました。

皆様とともにこの研究大会を楽しみたいと思います。



LET 中部支部長  
高橋美由紀  
(愛知教育大学)

President of LET Chubu Chapter  
Takahashi Miyuki  
(Aichi University of Education)

第57回全国研究大会(LET2017)によるこそお越し下さいました。

本年度は、昨今の教育改革の動向を踏まえ、「外国語教育の未来：アクティブラーニングの資するもの」をテーマとしました。

グローバル化への進展に伴って国際的に活躍できる人材の育成は急務となっています。そして、新学習指導要領では、将来を担う子ども達に「知・徳・体にわたる『生きる力』を育むこと」、すなわち、これまでの「一方的に知識を得る教育」から、「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブラーニングの視点からの授業改善をさらに充実させることが求められています。

この教育政策から、外国語教育においても、小・中・高・大の一貫した教育による「アクティブラーニング」による学びを通して、これからの学校現場において求められる取組みについて知見を広げ、議論を深めることが大切であると考えました。多くの先生方と一緒に、今回のテーマである、将来を見据えた外国語教育におけるアクティブラーニングの役割等について、更に議論を深めたいと思います。

基調講演には、文部科学省や中央教育審議会、NHKEテレ「おとなの基礎英語」をはじめ、テレビやラジオの英語番組でおなじみの松本茂先生（立教大学教授）と、日本とアジア諸国の英語教育についての研究で著名なバトラー後藤裕子先生（ペンシルベニア大学教育大学院准教授）をお招きしています。また、教育現場での実践家と研究者の各々によるワークショップや研究発表・実践発表、シンポジウム等、盛りだくさんのプログラムを用意しました。

A:「全国の著名な先生方が名古屋にござらっしゃる（いらっしゃる）もんで、行こまい！（行きましょう）。」

B:「やっとかめだなも（お久しぶりですね）。ちょー待っといてくれん（ちょっと 待っててね）？ まわししとくで（用意しておくから）。」

地元ではこんな会話が聞こえてきそうです。

最後になりましたが、ご講演、ワークショップ等を担当いただく先生方、展示にご協力いただきました賛助会員の方々、そして研究発表や実践発表をしていただきます先生方、運営に携わって下さっている中部支部のスタッフの方々等、全ての皆様のご協力に感謝申し上げます。

本大会が、国際社会へ羽ばたく子ども達の教育に寄与することを期待いたしまして、主催者としての御挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

「ごめやーすばせ（ごめん遊ばせ）」

# 全体スケジュール Schedule Overview

## 8月5日(土)

	607教室	608教室	609教室	610教室	611教室		
10:00 12:00	支部長連絡会議	国際交流委員会	機関誌編集委員会	学会賞選考委員会	メルマガ委員会		
昼食							
11:30		ワークショップ受付 4階					
	607教室	403教室	404教室	405教室	406教室	407教室	408教室
12:30 14:00	理事会	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ
14:20 15:50		ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	
16:10 17:40		ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ	ワーク シヨップ		ワーク シヨップ

## 8月6日(日)

9:00	受付 1階玄関ホール						
	201・202教室	賛助会員の展示 8月6日(日)・7日(月) 2階・3階のホールにて開催					
9:40 10:00	開会式						
10:00 11:20	基調講演1 (松本茂)						
11:20 11:50	総会 学会賞表彰						
昼食							
	201・202教室	301教室	302教室	303教室	304教室	401教室	402教室
12:30 13:00	公募シンポジウム	研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	実践報告
13:05 13:35		研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	実践報告
13:40 14:10		研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	実践報告

	201・202教室	301教室	302教室	303教室	304教室	401教室	402教室
14:20 14:50	公募シンポジウム	研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	研究発表
14:55 15:25		研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	研究発表
15:30 16:00		研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	研究発表
	201・202教室	301教室	302教室	303教室	304教室	401教室	402教室
16:10 16:40	公募シンポジウム	研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	研究発表
16:45 17:15		研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	研究発表
17:20 17:50		研究発表	研究発表		賛助会員 プレゼン	研究発表	
18:00 19:30	懇親会 レストラン曙（名古屋学院大学 1階）						

## 8月7日(月)

8:40	受付 1階玄関ホール							
		301教室	302教室	303教室	304教室	401教室	402教室	
9:10 9:40		研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	研究発表	
9:45 10:15		研究発表	研究発表	実践報告	賛助会員 プレゼン	研究発表	研究発表	
	201・202教室						4階	
10:30 11:50	基調講演2 (パトラー後藤裕子)						ポスター セッション	
昼食								
		301教室	302教室	303教室	304教室			
13:00 13:30		研究発表	研究発表	実践報告	実践報告			
13:35 14:05		研究発表	研究発表	実践報告	実践報告			
	201・202教室							
14:20 16:40	パネルディスカッション							
16:40 17:00	閉会式							

## 賛助会員展示企業一覧 Exhibitions

### 賛助会員(50音順)

<p>Actiontec Electronics, Inc. 日本オフィス            正興ITソリューション株式会社            朝日無線株式会社            アルク株式会社            株式会社 内田洋行            株式会社 エル・インターフェース            非営利活動法人 英語運用能力評価協会            カシオ計算機株式会社            株式会社 教育測定研究所            株式会社 桐原書店            株式会社 金星堂            一般社団法人 Global8            株式会社 グローバルキャスト G-TELP日本事務局            国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部            一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会            株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム            株式会社 松柏社            株式会社 成美堂            Cengage Learning            チエル株式会社            電子システム株式会社            株式会社南雲堂            日本データパシフィック株式会社            株式会社ニュートンプレス            株式会社VERSION2            パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社            ピアソン・ジャパン株式会社            BBCワールド ジャパン株式会社            ベネッセコーポレーション            北辰映電株式会社            株式会社 マクミラン ランゲージハウス            リアリーイングリッシュ株式会社</p>	<p>Actiontec Electronics, Inc.            SEIKO IT SOLUTION Co., LTD.            Asahimusen Co., Ltd.            ALC PRESS INC.            UCHIDA YOKO CO. LTD.            L-Interface Co., Ltd.            Association for English Language Proficiency Assessment            CASIO COMPUTER CO., LTD.            The Japan Institute for Educational Measurement, Inc.            Kiriara Shoten K.K.            KINSEIOO Publishing Co., Ltd.            Global Eight Institute            Global Cast Co., Ltd. G-TELP Japan            CIEE Japan            The Institute for International Business Communication            JVCKENWOOD Public &amp; Industrial Systems Corp.            Shohakusha Publishing Co., Ltd.            SEIBIDO Publishing Co., Ltd.            Cengage Learning K.K.            CHleru Co., Ltd.            DENSHI SYSTEM CO., LTD.            NAN'UN-DO Co., Ltd            DATA PACIFIC (JAPAN) LTD.            Newton Press Inc.            VERSION2            Panasonic System Networks Co., Ltd.            Pearson Japan K.K.            BBC World Japan Ltd.            Benesse Corporation            HOKUSHIN:EIDEN            Macmillan Language House Ltd.            Reallyenglish Japan Co., Ltd.</p>
--	---

8月5日(土)

Saturday, August 5

10:00-12:00 支部長連絡会議 国際交流委員会・機関誌編集委員会・学会賞選考委員会・メルマガ委員会  
607教室 608教室・609教室・610教室・611教室

12:30-17:00 理事会  
607教室

11:30- 受付  
4階ワークショップ受付

12:30-17:40 ワークショップ

**403教室**

12:30-14:00 ワークショップ 英語

Extensive Reading Basics:What and How

Thomas E. BIERI (南山大学)

14:20-15:50 ワークショップ 日本語

英語語彙指導で考えたいこと：語彙を増やして整理する

森田 光宏 (広島大学)

16:10-17:40 ワークショップ 日本語

授業に取り入れたい英語プロソディの指導

大和 知史 (神戸大学)

**404教室**

12:30-14:00 ワークショップ 日本語

ICTを活用したアクティブ・ラーニング型授業 — アプリを用いたワークショップ —

反田 任 (同志社中学校・高等学校)

14:20-15:50 ワークショップ 日本語

主体的・探究的な学びに結びつけるための協同学習

金丸 紋子 (カリタス女子中学校・高等学校)

16:10-17:40 ワークショップ 英語

12 activities for active learning with PowerPoint

Paul Wicking (名城大学)

**405教室**

12:30-14:00 ワークショップ 日本語

文部科学省作成の英語絵本2冊の活用法 — 3・4年生の外国語活動 —

清水 万里子 (岐阜女子大学)

14:20-15:50 ワークショップ 日本語

生きる力を育む小学校英語の創造 — 岡崎市立本宿小学校の実践から —

福田 貴子・内田 巧治・奥井 利香・高木 理人・

荒木 美穂 (愛知県岡崎市立本宿小学校)

16:10-17:40 ワークショップ 日本語

コーパスから有意義な情報を抽出するために必要なこと

滝沢 直宏 (立命館大学)

#### 406教室

- 12：30-14：00 ワークショップ 日本語  
学習者コーパス研究入門：日本語学習者・英語学習者のL2産出をどう評価するか  
石川 慎一郎（神戸大学）
- 14：20-15：50 ワークショップ 日本語  
質問紙調査の基礎知識— 準備・分析・活用をふまえて —  
今野 勝幸（静岡理工科大学）
- 16：10-17：40 ワークショップ 日本語  
Rを用いた外国語教育データの整理・要約  
川口 勇作（愛知学院大学）

#### 407教室

- 12：30-14：00 ワークショップ 日本語  
外国語教育研究者のためのベイズ統計入門  
草薙 邦広（広島大学）
- 14：20-15：50 ワークショップ 日本語  
外国語教育研究における統計処理入門  
小島 ますみ（岐阜市立女子短期大学）

#### 408教室

- 12：30-14：00 ワークショップ 日本語  
質的研究の技法以前：研究デザインをどのように設計する  
高木 亜希子（青山学院大学）
- 16：10-17：40 ワークショップ 日本語  
TED動画を使ったアクティブラーニングへの挑戦—導入、プレゼン発表会、スマホ、多言語対応まで—  
田淵 龍二（ミント音声教育研究所）



8月6日(日)

Sunday, August 6

9:00 受付  
1階玄関ホール

9:40-10:00 開会式

201・202教室

司会：西尾 由里 (大会事務局長 名城大学)

Chair: Nishio Yuri (The Executive Director of the Conference, Meijo University)

挨拶：柳 善和 (LET会長 名古屋学院大学)

Greeting: Yanagi Yoshikazu (President of LET, Nagoya Gakuin University)

挨拶：高橋 美由紀 (大会実行委員長 LET中部支部支部長 愛知教育大学)

Greeting: Takahashi Miyuki (Conference Steering Committee Chair, President of LET Chubu Chapter, Aichi University of Education)

会場校挨拶：小林 甲一 (名古屋学院大学学長)

事務局連絡：西尾 由里 (大会事務局長 名城大学)

10:00-11:20 基調講演1 Keynote Speech 1

201・202教室

「英語教育新時代」に向けて

Toward A New Era of English Education in Japan

松本茂先生 (立教大学)

Matsumoto Shigeru (Rikkyo University)

小中高の英語教育が大きく変わろうとしている。大学入学共通テストにおいても外部検定試験が活用される。この改革を成功させ、より円滑な高大接続と産学連携を図るために、大学教員が何をすべきなのかを考える。

司会：柳 善和 (LET会長 名古屋学院大学)

Chair: Yanagi Yoshikazu (President of LET, Nagoya Gakuin University)



11:20-11:50 総会・学会賞表彰

201・202教室

司会：尾関 修治 (LET本部事務局長 名古屋大学)

Chair: Ozeki Shujii (Secretary General of LET, Nagoya University)

挨拶：柳 善和 (LET会長 名古屋学院大学)

Greeting: Yanagi Yoshikazu (President of LET, Nagoya Gakuin University)

12:30-14:10 公募シンポジウム・研究発表・実践報告

201・202教室

12:30-14:10

公募シンポジウム

日本語

ジャンル準拠アプローチによる英語学術論文執筆支援ツールの開発と拡張—理論と実践—

Development and Expansion of Writing Support Tool for Research Articles Using Genre-based Approach

水本 篤 (関西大学)・保田 幸子 (神戸大学)・近藤 悠介 (早稲田大学)

Mizumoto Atsushi (Kansai University)・Yasuda Sachiko (Kobe University)・Kondo Yusuke (Waseda University)

### 301教室

- 12:30-13:00 研究発表 英語  
語彙習得における相乗効果: 単語学習アプリと紙媒体単語集との併用  
Synergetic Effect of Integrating a Smartphone App for Vocabulary Learning with the Traditional Paper-book Learning Method  
萱 忠義 (学習院女子大学)  
Kaya Tadayoshi (Gakushuin Women's College)
- 13:05-13:35 研究発表 日本語  
統制的発表語彙サイズテストの適用可能性の再検証  
Re-Analysis of Applicability to Vocabulary Size Test on Controlled Productive Ability  
今井 由美子 (同志社女子大学)・三根 浩 (同志社女子大学)  
Imai Yumiko (Doshisha Women's College of Liberal Arts)・Mine Hiroshi (Doshisha Women's College of Liberal Arts)
- 13:40-14:10 研究発表 英語  
「考えるだけでなく、感じよう」の教育的応用: 情動関与処理の第二言語語彙獲得への効果  
Putting "Don't Just Think, but Also Feel" into Pedagogical Practice: The Effect of Emotion-Involved Processing on L2 Vocabulary Acquisition  
金澤 佑 (関西学院大学)  
Kanazawa Yu (Kwansei Gakuin University)

### 302教室

- 12:30-13:00 研究発表 日本語  
HiroTan: 新たな自学自習用単語学習システムとその特徴  
HiroTan: A new self-paced vocabulary learning system and its features  
阪上 辰也 (広島大学)・榎田 一路 (広島大学)・森田 光宏 (広島大学)・  
鬼田 崇作 (広島大学)・大西 昭夫 (株式会社VERSION2)  
Sakaue Tatsuya (Hiroshima University)・Enokida Kazumichi (Hiroshima University)・  
Morita Mitsuhiro (Hiroshima University)・Kida Shusaku (Hiroshima University)・Ohnishi Akio  
(VERSION2 Inc.)
- 13:05-13:35 研究発表 日本語  
日本人英語学習者のコロケーション学習への示唆 - 語法的研究に沿った分類の視点から -  
Potential Phraseological Implications for Japanese EFL Learners' Learning of Collocations  
デイヴィス 恵美 (関西学院大学)  
Davis Emi (Kwansei Gakuin University)
- 13:40-14:10 研究発表 日本語  
英語学習辞書への意識変化: スマホとタブレットを比較して  
Change in attitudes toward dictionary use among young learners: A comparative study of smartphone apps and tablet apps  
小山 敏子 (大阪大谷大学)  
Koyama Toshiko (Osaka Ohtani University)

### 303教室

- 12:30-13:00 実践報告 日本語  
授業研究を促進するリアルタイム授業分析システムの開発  
Development of a real-time classroom analysis system which promotes lesson studies  
石塚 博規 (北海道教育大学旭川校)  
Ishizuka Hiroki (Hokkaido University of Education, Asahikawa)

13 : 05-13 : 35 実践報告 日本語  
英語による反転教科授業の実践報告

**Report on Content-based Flipped English Class**

金子 恵美子 (会津大学)  
Kaneko Emiko (University of Aizu)

13 : 40-14 : 10 実践報告 日本語  
自律学習を促す理系英語オンライン学習教材の開発

**Developing Online English Learning Materials for Science Departments to Facilitate Autonomous English Learning**

安浪 誠祐 (熊本大学)  
Yasunami Seisuke (Kumamoto University)

**304教室**

12 : 30-13 : 00 賛助会員プレゼンテーション 日本語  
グローバル人材育成のためのブレンド型英語学習教材

**A Multi-faceted Approach to Global Competency in English Learning**

プライド マット (株式会社桐島書店) ・長廻 祈子 (株式会社SMATOOS)  
Pride, Matt (Kiriara Shoten K.K.) ・ Nagasaki Noriko (SMATOOS K.K.)

13 : 05-13 : 35 賛助会員プレゼンテーション 日本語  
新形式対応TOEIC教材と入学前教育での活用

**e-learning contents for updated TOEIC test and use of Bridge Program**

平 治彦 (日本データパシフィック株式会社) ・皆川 祐美子 (日本データパシフィック株式会社)  
Taira Haruhiko (DATAPACIFIC [JAPAN] LTD.) ・ Minagawa Yumiko (DATAPACIFIC [JAPAN] LTD.)

13 : 40-14 : 10 賛助会員プレゼンテーション 日本語  
スピーキングに特化したトレーニングアプリケーションとその活用事例の紹介

**Introducing MyET, application specialized for training speaking skill, and how it's used in universities, companies and cram schools**

沼田 剛史 (G-TELP日本事務局)  
Numata Tsuyoshi (G-TELP Japan)

**401教室**

12 : 30-13 : 00 研究発表 日本語  
時間用法を表す前置詞at、in、onの効果的学習法

**A Cognitive Linguistics Approach to Teaching Prepositions of Time AT, IN and ON**

中川 右也 (鈴鹿高等学校)  
Nakagawa Yuya (Suzuka High School)

13 : 05-13 : 35 研究発表 日本語  
大学生の授業内学習エンゲージメントをどう高めるか:フロー理論を用いて

**Enhancing Learning Engagement in EFL Classroom: Using the Framework of Flow**

近藤 睦美 (京都外国語大学) ・山本 玲子 (京都外国語大学) ・石川 保茂 (京都外国語大学)  
Kondo Mutsumi (Kyoto University of Foreign Studies) ・ Yamamoto Reiko (Kyoto University of Foreign Studies) ・ Ishikawa Yasushige (Kyoto University of Foreign Studies)

13 : 40-14 : 10 研究発表 日本語  
没入型バーチャル・リアリティによる英語パブリックスピーキング練習用システムの開発:マルチモーダルコーパス分析に基づく教材の展開  
Development of a Virtual Reality Practice System for English Public Speaking: Based on Multimodal Corpus Analysis  
冬野 美晴 (九州大学)  
Fuyuno Miharu (Kyushu University)

#### 402教室

12 : 30-13 : 00 実践報告 日本語  
基礎英語の授業におけるタスク性の高いコミュニケーション活動の導入:学習者の情意的側面の分析からの示唆  
Introducing task-like communication activities to college basic English classes: An analysis focusing on affective factors  
江口 朗子 (愛知工科大学)・田村 祐 (名古屋大学)  
Eguchi Akiko (Aichi University of Technology)・Tamura Yu (Nagoya University)

13 : 05-13 : 35 実践報告 日本語  
未来英語教師へのiPadを使ったマルチメディア教材開発能力向上ためのプロジェクト  
Multimedia Materials Development Projects Using iPads to Enhance Technical Skills for Prospective English Teachers  
野澤 和典 (立命館大学)  
Nozawa Kazunori (Ritsumeikan University)

13 : 40-14 : 10 実践報告 英語  
SMS通して外国語教室の孤独感を脱却する  
Breaking Down Barriers in the English Classroom through SNS  
ウィキン ポール (名城大学)  
Wicking, Paul (Meijo University)

#### 14 : 20-16 : 00 公募シンポジウム・研究発表・実践報告

##### 201・202教室

14:20-16:00 公募シンポジウム 日本語  
日本人英語学習者における動機付けと情意:縦断的变化に関する実証研究  
Longitudinal Studies of Motivation and Affect in the Japanese EFL Context  
西田 理恵子 (大阪大学)・阿川 敏恵 (清泉女子大学)・小島 直子 (同志社大学)・廣森 友人 (明治大学)  
Nishida Rieko (Osaka University)・Agawa Toshie (Seisen University)・Kojima Naoko (Doshisha University)・Hiromori Tomohito (Meiji University)

##### 301教室

14 : 20-14 : 50 研究発表 日本語  
英語教員志望者の認識の変化:小学校外国語活動でのケース・スタディより  
Change of Pre-service EFL Teachers' Perception of Teaching English: A Study at Elementary School  
池田 真生子 (関西大学)・今井 裕之 (関西大学)・竹内 理 (関西大学)  
Ikeda Maiko (Kansai University)・Imai Hiroyuki (Kansai University)・Takeuchi Osamu (Kansai University)

- 14 : 55-15 : 25 研究発表 日本語  
 小学校5・6年生向けデジタル英語教材の学習効果—記憶に焦点を当てて—  
**Learning Effects of Computer-Based English Teaching Materials for Elementary School Fifth and Sixth Graders: Focused on Memory**  
 長谷川 修治 (植草学園大学)  
 Hasegawa Shuji (Uekusa Gakuen University)
- 15 : 30-16 : 00 研究発表 英語  
 教師モチベーション研究の重要性  
**The Importance of Teacher Motivation Research in SLA**  
 末森 咲 (お茶の水女子大学)  
 Suemori Saki (Ochanomizu University)

### 302教室

- 14 : 20-14 : 50 研究発表 日本語  
 自己効力感が英文読解の効率性に与える効果について—眼球運動データをもとに—  
**Effects of Self-Efficacy on English Reading Efficiency: An Eye-Tracking Study**  
 梁 志鋭 (名古屋学院大学)・三上 仁志 (中部大学)・吉川 りさ (広島大学)  
 Leung Chi Yui (Nagoya Gakuin University)・Mikami Hitoshi (Chubu University)・  
 Yoshikawa Lisa (Hiroshima University)
- 14 : 55-15 : 25 研究発表 日本語  
 グループ学習における文書の類似度調査: 足場かけはどのように行われているか  
**Document similarity in language learners' group work: How they scaffold each other**  
 橋本 健広 (関東学院大学)  
 Hashimoto Takehiro (Kanto Gakuin University)
- 15 : 30-16 : 00 研究発表 日本語  
 オンライン学習プログラムにおける単位取得困難学生の事前検知: 非線形最小二乗法による学習到達度  
 曲線のモデリング  
**Predicting Students' Drop Out in Online Learning Program: A Nonlinear Least Squares Curve Fitting  
 Approach for Analyzing Online Learning Logs**  
 草薙 邦広 (広島大学)・榎田 一路 (広島大学)・鬼田 崇作 (広島大学)・  
 阪上 辰也 (広島大学)・森田 光宏 (広島大学)・吉川 りさ (広島大学)  
 Kusanagi Kunihiro (Hiroshima University)・Enokida Kazumichi (Hiroshima University)・  
 Kida Shusaku (Hiroshima University)・Sakaue Tatsuya (Hiroshima University)・Morita  
 Mitsuhiro (Hiroshima University)・Yoshikawa Lisa (Hiroshima University)

### 303教室

- 14 : 20-14 : 50 実践報告 日本語  
 英語動画を活用した自己調整学習: 発音矯正とリスニング・スピーキング指導  
**Self-regulated learning with an English movie clip provider website to improve listening and speaking  
 skills**  
 下山 幸成 (東洋学園大学)  
 Shimoyama Yukinari (Toyo Gakuen University)

14:55-15:25 実践報告 日本語  
英語スピーキング能力と自信を育てるアクティブラーニング:ビジュアル・シャドーイング(中山2011)を使って

Visual Shadowing (Nakayama 2011) as a Methodology of Improving Speaking Skills for Teaching English at Elementary Schools

松本 由美 (玉川大学)

Matsumoto Yumi (Tamagawa University)

15:30-16:00 実践報告 日本語

CLILとICTを使った音声学授業の効果の検証

How CLIL and ICT have an Effect on the Subject of Phonetics

西尾 由里 (名城大学)

Nishio Yuri (Meijo University)

### 304教室

14:20-14:50 賛助会員プレゼンテーション 日本語

主体的な外国語学習を支援するウチダのソリューション

The Introduction of Uchida's Products and Solutions for Autonomous Language Learning

手塚 恵 (株式会社内田洋行)

Tezuka Megumi (Uchidayoukou)

14:55-15:25 賛助会員プレゼンテーション 日本語

「学び」によって得られる報酬を明確にした教科書の開発

Development of a Textbook with Explicit Rewards for Learning

株式会社金星堂・森田 彰 (早稲田大学)

Kinseido・Morita Akira (Waseda University)

15:30-16:00 賛助会員プレゼンテーション 日本語

ICT化が進む教育現場の次なるテーマは「教室の無線化」

Wireless, the next theme for classroom enhancing ICT

松田 茂 (Actiontec Electronics, Inc. 日本オフィス)

Matsuda Shigeru (Actiontec Electronics, Inc. Japan Office)

### 401教室

14:20-14:50 研究発表 英語

チャンクの組み合わせのリピーティングがL2の流暢さと正確さに与える影響

Effects of Oral Repeating of Chunk Combinations on L2 Fluency and Accuracy

山岡 浩一 (関西大学)

Yamaoka Koichi (Kansai University)

14:55-15:25 研究発表 英語

スピーキングタスクの繰り返しの効果—タスクの実施間隔の影響—

The Effects of Interession Intervals in Speaking Task Repetition

小林 真実 (名古屋大学大学院生)

Kobayashi Manami (Graduate School, Nagoya University)

15:30-16:00 研究発表 英語

第二言語のリスニング訓練の補助に向けたTEDトークにおける難語の自動検出

Automatic Detection of Difficult words in TED talks to Foster Second Language Listening

MIRZAEI, Maryam Sadat (京都大学)

MIRZAEI, Maryam Sadat (Kyoto University)

## 402教室

14:20-14:50 研究発表 英語

英語教育に関心のある大学生の理想ELT自己はどんなものか

What is Ideal ELT Self for University Students Who are Interested in ELT?

宮迫 靖静 (福岡教育大学)

Miyasako Nobuyoshi (University of Teacher Education Fukuoka)

14:55-15:25 研究発表 日本語

Web上のオープンコンテンツを活用したパーソナライズドラーニングシステムの開発と効果の検証

Evaluation of Learning Support System Utilizing Open Contents on the Web for Providing Personalized Learning Environment

中島 愛 (東京大学)・小野 雄一 (筑波大学)

Nakajima Ai (University of Tokyo)・Ono Yuichi (University of Tsukuba)

15:30-16:00 研究発表 日本語

難易度別CALL教材Listen to Me! による一斉授業と自律学習の併合:必修英語科目の壁を乗り越えて

*Listen to Me!* An effective integration of classroom and autonomous learning: To overcome difficulties in a required English class

椎名 紀久子 (名古屋外国語大学)・浅野 昌子 (名古屋外国語大学)・新居 明子

(名古屋外国語大学)・森 明智 (名古屋外国語大学)・ウェストビィ 三奈 (名古屋外国語大学)

Shiina Kikuko (Nagoya University of Foreign Studies)・Asano Masako (Nagoya University of Foreign Studies)・Nii Akiko (Nagoya University of Foreign Studies)・Mori Akitomo (Nagoya University of Foreign Studies)・Westby Mina (Nagoya University of Foreign Studies)

## 16:10-17:50 公募シンポジウム・研究発表・実践報告

### 201・202教室

16:10-17:50 公募シンポジウム 日本語

人工知能によるスピーキングの自律学習支援と自動評価の可能性

Possibility of Supporting Autonomous Learning for Speaking and Automated Speaking Scoring with Artificial Intelligence

金丸 敏幸 (京都大学)・山下 仁司 (大阪大学)・東 淳一 (神戸学院大学)

Kanamaru Toshiyuki (Kyoto University)・Yamashita Hitoshi (Osaka University)・

Azuma Jun'ichi (Kobe Gakuin University)

### 301教室

16:10-16:40 研究発表 日本語

日本人英語学習者の聴解・読解に関する主観的な困難点: 振り返りシートの記録を中心に

An Analysis of the Subjective Difficulties of Japanese Learners of English concerning Listening and Reading: Focusing on the Comments on Reflection Sheets

吉村 愛子 (名古屋大学大学院生)

Yoshimura Aiko (Graduate School of International Development, Nagoya University)

16 : 45-17 : 15 研究発表 日本語  
英文難易度の違いがチャンク長と読解能力の関係に及ぼす影響  
The Influence of Differences of Readability on the Relationship between Chunk Length and Reading Comprehension

鈴木 政浩 (西武文理大学)・湯舟 英一 (東洋大学)・神田 明延 (首都大学東京)・  
山口 高領 (立教女学院短期大学)・田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)

Suzuki Masahiro (Bunri University)・Yubune Eiichi (Toyo University)・Kanda Akinobu  
(Tokyo Metropolitan University)・Yamaguchi Takane (St. Margaret's Junior College)・  
Tabuchi Ryuji (Mint Phonetics Education Institute)

17 : 20-17 : 50 研究発表 日本語  
多読学習が英語読解力に与える影響について:スキル項目に基づく分析

Effects on Extensive Reading on Learners' Reading Abilities: An analysis based on skill items

林 幸代 (福岡大学)・丸尾 加奈子 (福岡大学)・川瀬 義清 (西南学院大学)・  
長 加奈子 (福岡大学)

Hayashi Sachiyo (Fukuoka University)・Maruo Kanako (Fukuoka University)・Kawase  
Yoshikiyo (Seinan Gakuin University)・Cho Kanako (Fukuoka University)

### 302教室

16 : 10-16 : 40 研究発表 日本語  
ビジネスで機能する英文Eメール・ライティングに求められる要因

Factors required for functional business email writing in English

戸田 博之 (東京大学)

Toda Hiroyuki (The University of Tokyo)

16 : 45-17 : 15 研究発表 日本語  
L2ライティングにおける複雑性と流暢性の関係

The relationship between complexity and fluency in L2 writing

西村 嘉人 (名古屋大学大学院生)・川口 勇作 (愛知学院大学)・  
姚 成陽 (アクセンチュア (株))・阿部 大輔 (名古屋大学大学院生)

Nishimura Yoshito (Graduate School, Nagoya University)・Kawaguchi Yusaku (Aichi Gakuin  
University)・Yao Chengyang (Accenture Japan Ltd)・Abe Daisuke (Graduate School, Nagoya  
University)

17 : 20-17 : 50 研究発表 日本語  
論理・表現の力を高めるプロセスライティングの実践でのライティング力に影響する要因  
Factors enhancing learners' writing ability through process-writing in order to be successful  
communicators

高橋 昌由 (津山工業高等専門学校)

Takahashi Masayuki (National Institute of Technology, Tsuyama College)

### 303教室

16 : 10-16 : 40 実践報告 日本語

小学校英語教育にアクティブ・ラーニングを取り入れる活動-ICTを効果的に活用して  
English Education for Children using Active Learning - A case study of using ICT

高橋 美由紀 (愛知教育大学)

Takahashi Miyuki (Aichi University of Education)



16 : 45-17 : 15 実践報告 英語

小学校教諭のためのモバイル学習ツール

Mobile Content for Elementary School English Teachers

ジャレル ダグラス (名古屋女子大学)・汪 曙東 (島根大学)

Jarrell, Douglas (Nagoya Women's University)・Wang Shudong (Shimane University)

### 304教室

16 : 10-16 : 40 賛助会員プレゼンテーション 日本語

論文を読む、講義を聴く、留学する・・・を目指す！新コース「Academic English」のご紹介

New Course: Academic English

栗林 克樹 (リアリーイングリッシュ株式会社)

Kuribayashi Yoshiki (Reallyenglish Japan Co.,Ltd.)

16 : 45-17 : 15 賛助会員プレゼンテーション 日本語

スピーキング学習ツールとニュース教材を活用したモバイル学修提案

Proposals for Mobile Assisted Language Learning using a speaking learning tool and news materials

小杉 麗奈 (チエル株式会社)

Kosugi Reina (CHleru Co., Ltd.)

17 : 20-17 : 50 賛助会員プレゼンテーション 日本語

「Digital Student Book」を活用したクラス作り

English Class using "Digital Student Book"

佐藤 まこと (株式会社マクミラン ランゲージハウス)

Makoto Sato (ELT Consultant, Macmillan Education Japan)

### 401教室

16 : 10-16 : 40 研究発表 日本語

隠れマルコフモデルによるライティング過程の把握とその形成的評価への援用

A Hidden Markov Model Approach for Writing Process Research: Model Construction and Its Application to Formative Assessment

草薙 邦広 (広島大学)・川口 勇作 (愛知学院大学)・阪上 辰也 (広島大学)

Kusanagi Kunihiro (Hiroshima University)・Kawaguchi Yusaku (Aichi Gakuin University)・

Sakaue Takuya (Hiroshima University)

16 : 45-17 : 15 研究発表 日本語

日本人英語学習者のライティングにおける前置詞in, on, atの使用傾向

Usage of prepositions "in", "on", and "at" by Japanese learners English

中西 淳 (神戸大学)

Nakanishi Atsushi (Kobe University)

17 : 20-17 : 50 研究発表 日本語

外国語学習におけるe-Learningの学習効果に関する一考察

Effects of e-learning on language learning

李 相穆 (九州大学)

Lee Sangmok (Kyushu University)

#### 402教室

16:10-16:40

研究発表

英語

英語プレゼン時の音声特徴—音声読み上げソフトによるモデル音声作成に向けて—

Acoustic Features of English Oral Presentations for Creating Speech Model Samples

堀 智子 (東京工業高等専門学校)・吉本 定伸 (東京工業高等専門学校)・  
小嶋 徹也 (東京工業高等専門学校)・野口 ジュディー (神戸学院大学)

Hori Tomoko (National Institute of Technology, Tokyo College)・Yoshimoto Sadanobu  
(National Institute of Technology, Tokyo College)・Kojima Tetsuya (National Institute of  
Technology, Tokyo College)・Noquchi Judy (Kobe Gakuin University)

16:45-17:15

研究発表

日本語

日本人英語学習者における英語イントネーションの発音指導の効果

Effects of pronunciation instruction on English intonation with Japanese learners

赤塚 麻里 (名古屋外国語大学)・堀 智子 (東京工業高等専門学校)・遠山 道子 (文教大学)  
Akatsuka Mari (Nagoya University of Foreign Studies)・Hori Tomoko (National Institute of  
Technology, Tokyo College)・Toyama Michiko (Bunkyo University)

18:00-19:30

懇親会 Conference Reception

会場：レストラン曙 名古屋学院大学 1階

Restaurant Akebono 1st floor, Nagoya Gakuin University

8月7日(月)

Monday, August 7

8:40 受付

1階玄関ホール

9:10-10:15 研究発表・実践報告

301教室

9:10-9:40 研究発表 日本語

多言語に対応したシャドーイング音声自動評価に関する実験的検討

An experimental study on automatic and language-independent assessment of shadowing speech

峯松 信明(東京大学)・山内 豊(東京国際大学)・伊藤 佳世子(京都大学)・  
坪田 康(京都工業繊維大学)

Minematsu Nobuaki (The University of Tokyo)・Yamauchi Yutaka (Tokyo International University)・Ito Kayoko (Kyoto University)・Tsubota Yasushi (Kyoto Institute of Technology)

9:45-10:15 研究発表 日本語

ディープ・ラーニングに基づく新しいアルゴリズムによるシャドーイング自動評価の精度向上

Accuracy Improvement in Automatic Evaluation of L2 Shadowing Performance with a New Deep Learning-based Algorithm

山内 豊(東京国際大学)・峯松 信明(東京大学)・伊藤 佳世子(京都大学)・  
坪田 康(京都工業繊維大学)・西川 恵(東海大学)

Yamauchi Yutaka (Tokyo International University)・Minematsu Nobuaki (University of Tokyo)・  
Ito Kayoko (Kyoto University)・Tsubota Yasushi (Kyoto Institute of Technology)・  
Nishikawa Megumi (Tokai University)

302教室

9:10-9:40 研究発表 日本語

相互行為分析からみたグループワークにおける「アクティブ」の発露について

What's "active"? : interactional analysis of group work and active learning

福島 祥行(大阪市立大学大学院文学研究科)

Fukushima Yoshiyuki (Graduate School of Literature and Human Sciences, Osaka City University)

9:45-10:15 研究発表 日本語

自律学習と学習スタイル: 語彙学習をベースとするStrategyingモデル

Self-regulated learning and learner styles: Validating Strategying Model based on vocabulary learning

若本 夏美(同志社女子大学)

Wakamoto Natsumi (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

303教室

9:10-9:40 実践報告 日本語

思考整理に焦点をあてた協働的ライティング活動の試み ―プレライティング活動が学生の学習に及ぼす影響―

Teaching Argumentative Writing through a Process-focused Instruction: The Effects of the Prewriting Activity on Student Perceived Learning

辻 香代(京都大学)

Tsuji Kayo (Kyoto University)



10 : 30-11 : 50 基調講演 2 Keynote Speech 2

201・202教室

外国語学習を促進するゲーム要素 — 子どもの視点からの考察

Game elements that promote foreign language learning: Insights from children's perspectives



バトラー後藤裕子先生 (ペンシルバニア大学)

Butler, Yuko Goto (University of Pennsylvania)

コンピュータゲームの外国語学習への応用は、実証研究も実践も始まったばかり（特に年少学習者における研究・実践）だが、先行研究、および、筆者のプロジェクトを紹介しながら、その可能性と留意点を紹介する。

司会: 高橋美由紀 (大会実行委員長・LET中部支部支部長 愛知教育大学)

Chair: Takahashi Miyuki (Conference Steering Committee Chair, President of LET Chubu Chapter, Aichi University of Education)

13 : 00-14 : 05 研究発表・実践報告

301教室

13:00-13:30

研究発表

日本語

中学英語教授用資料における発音指導の扱い

Pronunciation Instruction in Teacher's Manuals of Junior High School English

河内山 真理 (関西国際大学)・有本 純 (関西国際大学)

Kouchiyama Mari (Kansai University of International Studies)・Arimoto Jun (Kansai University of International Studies)

13:35-14:05

研究発表

日本語

チャンツを用いた音読指導の効果:音響分析と人による評価の比較

Effects of Reading aloud using Chants method: A comparison of acoustic analysis and human ears

川井 一枝 (宮城大学)

Kawai Kazue (Miyagi University)

302教室

13:00-13:30

研究発表

日本語

授業外協調学習支援ウェブ型アプリケーションを利用した英語反転授業

Flipped Learning Approach to a University EFL Course: Utilizing a Web-Based Application for Enhancing Outside-of-Class Collaborative Learning

石川 保茂 (京都外国語大学)・坪田 康 (京都工芸繊維大学)・近藤 睦美 (京都外国語大学)・津田 元紀 (株)内田洋行)・須藤 綾子 (株)内田洋行)・西山 康一 (株)インフィニテック)

Ishikawa Yasushige (Kyoto University of Foreign Studies)・Tsubota Yasushi (Kyoto Institute of Technology)・Kondo Mutsumi (Kyoto University of Foreign Studies)・Tsuda Motoki (Uchida Yoko, Co., Ltd.)・Suto Ayako (Uchida Yoko, Co., Ltd.)・Nishiyama Koichi (Infinitee, Co., Ltd.)

13:35-14:05

研究発表

英語

EMIクラスにおけるアクティブラーニングの導入

What Happens When Active Learning is Incorporated into EMI Class?

杉本 清香 (早稲田大学)

Sugimoto Sayaka (Waseda University)

### 303教室

13:00-13:30

実践報告

英語

EFL授業におけるMOOCsの活用事例とその有効性～大学1年生への新たな試み～

The Case Study and Effectiveness of MOOCs in EFL Required Course: A New Challenge for Freshmen at NUIS Focus on a Self-Directed Learning

佐藤 泰子 (新潟国際情報大学)

Sato Yasuko (Niigata University of International and Information Studies)

13:35-14:05

実践報告

日本語

ボイスレコーダーと辞書を用いた協働的会話振り返り活動の実践

Practice of a Collaborative Conversation Reflection Activity Using a Voice Recorder and Dictionary

山本 大貴 (兵庫教育大学)・津田 ひろみ (明治大学)

Yamamoto Hiroki (Hyogo University of Teacher Education)・Tsuda Hiromi (Meiji University)

### 304教室

13:00-13:30

実践報告

日本語

日本人英語学習者のライティングクラスにおけるアクティブ・ラーニングを通じたコレクティブ・フィードバック

Corrective Feedback Through Active Learning in the Context of Japanese EFL Writing Class

星野 芳恵 (東京工芸大学)

Hoshino Hanae (Tokyo Polytechnic University)

13:35-14:05

実践報告

日本語

大学英語授業内オンライン英会話活動に関するガイドライン開発に向けて:学生の視点から

Developing Guidelines for Online English Conversation Practice in College English Course: From Students' Viewpoints

半田 純子 (明治大学サービス創新研究所)・坂本 美枝 (明治大学サービス創新研究所)

Handa Junko (Institute for Service Innovation Studies of Meiji University)・Sakamoto Yoshie (Institute for Service Innovation Studies of Meiji University)

### 10:00-14:05 ポスターセッション (コアタイム 13:00-14:05)

#### 4階フロア

10:00-14:05

ポスターセッション

日本語

英語苦手高専学生の英語力をいかに向上させるかーコミュニケーション・英語苦手学生の英語力向上への取り組みとその効果ー

Trials and Attempts to Overcome Kosen Students' Negative Attitude toward Communication and English Learning

水野 知津子 (明石高等専門学校)

Mizuno Chizuko (National Institute of Technology, Akashi)

10:00-14:05

ポスターセッション

日本語

Lingua Francaの観点からの航空英語教育

Teaching Aviation English as a Lingua Franca

縄田 義直 (航空大学校)

Nawata Yoshinao (Civil Aviation College)



**14 : 20-16 : 40 パネルディスカッション**

201・202教室

ICTを活用したこれからの評価を考える

**The Future of language assessment using ICT**

コーディネーター 石井 雄隆 (早稲田大学)

**Ishii Yutaka (Waseda University)**

パネラー 根岸 雅史 (東京外国語大学)

**Negishi Masashi (Tokyo University of Foreign Studies)**

パネラー 木村 哲夫 (新潟青陵大学)

**Kimura Tetsuo (Niigata Seiryō University)**

パネラー 永田 亮 (甲南大学)

**Nagata Ryo (Konan University)**

パネラー 近藤 悠介 (早稲田大学)

**Kondo Yusuke (Waseda University)**

**16 : 40-17 : 00 閉会式**

201・202教室

司会: 高橋美由紀 (大会実行委員長・LET中部支部支部長 愛知教育大学)

Chair: Takahashi Miyuki (Conference Steering Committee Chair, President of LET Chubu Chapter, Aichi University of Education)

挨拶: 次期大会開催支部 関西支部



## 事前申込登録 Pre-registration

LET 全国研究大会への参加申込・ワークショップ申込・大会予稿集購入・懇親会申込・お弁当申込は事前登録ができます。

### 事前申込登録期間 Pre-registration Period

【登録期間】2017年7月10日（月）10:00～7月21日（金）17:00

Pre-registration period: From Monday, July 10 (10:00) until Friday, July 21 (17:00)

【支払期限】2017年7月26日（水）17:00

Payment deadline: Wednesday, July 26 (17:00)

■LET 会員は、大会ホームページより事前申込登録ができます。まずは、大会参加申込をしたのち、各種申込（ワークショップ・大会予稿集・懇親会・お弁当）の申し込みを行ってください。

非会員の方は、LET 学会新規登録ページ（[https://www.j-let.org/reg\\_select.php](https://www.j-let.org/reg_select.php)）からご入会いただきますと、事前登録ができるようになります。

事前登録されますと、確認メールが届きます。メールが届かない場合は、迷惑フォルダに入っている場合がございますので、ご確認下さい。それでも見当たらない場合は、お手数ですが、参加登録担当係までお問い合わせ下さい。

LET members are required to pre-register for the conference. New members are eligible to register for the conference upon registering for LET membership.

Please make sure to check your spam' junk email folder if you don't receive a confirmation e-mail, or please contact at [let2017@a-youme.jp](mailto:let2017@a-youme.jp)

■事前申込をされ、入金が必要なものは、7月26日（水）までにご入金ください。その日までに入金がない場合、ワークショップ、大会発表予稿集、懇親会、及びお弁当の申込は無効になります。その場合、学会当日に“当日”の料金で大会発表予稿集、懇親会につきましては、改めてお申込いただくこととなります。ワークショップ及び、お弁当の申し込みは事前申込のみで、当日申込はできませんので、予めご了承下さい。

Please note that unpaid pre-registration will not be considered as valid registration. Confirmed full payment is required. Please make your payment by Wednesday, July 26, 2017. If you fail to make your payment, you may be required to register on-site, and you will not be eligible for early-bird fee reductions.

### 【事前参加登録についてのお問い合わせ】【For more information on pre-registration】

LET2017 第57回全国研究大会 事前参加登録受付係

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4番8号日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内 Attn: Ayumi Corporation Co., Ltd.

Phone: 06-6441-4918 (代) Fax: 06-6441-2055 (代) e-mail: [let2017@a-youme.jp](mailto:let2017@a-youme.jp)

## 参加費 Participation fees

	会員(事前) LET Members (Pre- registration)	学生会員 (事前) Student Members (Pre- registration)	会員(当日) LET Members (Non- registration)	当日会員 (一般) Non-members (on-site)	当日会員 (学生) Non-members: student (on-site)	当日入会の会 員 Non-members joining LET on -site
参加費 Participation Fee	¥0	¥0	¥0	¥3,000	¥1,500	¥0
大会発表予稿集 Proceedings	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000
懇親会 Reception	¥4,000	¥4,000	¥5,000	¥5,000	¥5,000	¥5,000
お弁当代 Lunch Box	¥1,000	¥1,000				
ワークショップ 参加費 Workshop Fee	¥1,000	¥1,000				

All fees in Japanese Yen

### ■大会発表予稿集について Conference Proceedings

事前参加登録時に予稿集をお申込みいただき、入金期限までに費用をお振り込みいただいた方には、当日受付で大会発表予稿集をお渡しします。支払期限までにお振込の確認ができていない場合には、自動的にお申込がキャンセルとなり、当日受付で代金(2,000円)をお支払いの上、予稿集をご購入いただくこととなります。また、「支払期限後(7月26日以降)」のキャンセルは、払い戻しいたしませんのでご注意ください。当日購入の場合も、大会発表予稿集の価格は2,000円ですが、数に限りがありますので、できるだけ事前参加登録時にお申し込み下さい。

There will be no refund for any reason if you cancel after July 26. On-site purchase of the conference proceedings may not be available on the days of the conference.

### ■懇親会について Conference Reception

懇親会への参加申込は事前申込を原則とします。ただし、当日参加者を若干受け付けます。支払期限までにお振込の確認ができていない場合には、参加をお断りすることとなります。また、「支払期限後(7月26日以降)」のキャンセルは、払い戻しいたしませんのでご注意ください。当日参加受付の場合、参加費は5,000円になります。

(NOTICE! There will be no refund for any reason if you cancel after July 26.)

■団体会員はお一人のみ会員扱いとなります。お二人目以降の参加につきましては、当日会費を各支部の受付にてお支払いください。

Only one person is allowed to attend for each group membership. The conference attendance fee will be charged from the second person.

■大会期間中は名札が会員証になります。会場では名札をおつけ下さい。

Please wear your conference name card throughout the conference.

## 【領収書 Receipts】

■大会発表予稿集、懇親会費用、お弁当、ワークショップの領収証発行について

事前参加登録システムのマイページから、ご自分で領収証の出力が可能です。大会発表用領収書、懇親会用領収書、お弁当、ワークショップの領収書のそれぞれが出力できます。領収証の出力は1回のみ可能です。再出力はできませんので、十分お気を付け下さい。事前参加登録受付番号と参加登録申込時に設定されたパスワードでマイページにログインし、画面のご案内に従って出力下さい。

Please log in using your confirmation number and password to the conference site to obtain receipts.

Receipts will only be issued once proof of payment has been received.

■領収証再発行について

事前参加登録をされた方で、どうしても領収証の再発行が必要な方は参加登録担当係までご連絡下さい。但し、再発行は2017年8月末までとし、それ以降はお受け致しかねます。予めご了承下さい。

If you need to have a receipt reissued, please contact at [let2017@a-youme.jp](mailto:let2017@a-youme.jp) . Please make sure to contact us by the end of August 2017.

## 【キャンセルについて Refunds and Cancellations】

■ご入金前のキャンセル Cancellations before making your payment

事前参加登録受付係 e-mail: [let2017@a-youme.jp](mailto:let2017@a-youme.jp) までご連絡下さい。  
キャンセル料はかかりません。

Please direct questions about payments or refunds to the representative at Ayumi Corporation Co., Ltd.: [let2017@a-youme.jp](mailto:let2017@a-youme.jp)

No cancellation fees will be needed.

■ご入金後のキャンセル Cancellations after making your payment

7月26日(水)までにご連絡を頂いた場合は、振込手数料を差し引いた額を返金いたします。なお、7月26日(水)以降のキャンセルは、一切返金出来かねます。予めご了承下さい。

Please make sure to contact at [let2017@a-youme.jp](mailto:let2017@a-youme.jp) Wednesday, July 26, and fees will be refunded (But processing fees will be charged). No refund will be issued on or after July 26.

## 【お支払方法 Payment Methods】

### ■クレジットカードをご利用の場合 Payment with Credit Cards

下記のクレジットカードをご利用頂けます。お支払は一括払いのみです。

支払期限は2017年7月26日（水）17:00です。支払期限以降はカード決済ができなくなりますので、ご注意ください。

Credit card payment will be processed until 17:00 on July 26, 2017.

### 【取扱いカード一覧】 Payment by the following credit cards is accepted:



### ■銀行をご利用の場合 Payment by bank transfer

支払期限は2017年7月26日（水）です。

#### 【銀行口座情報】

必ず、事前参加登録者名義の口座からご送金下さい（振込内容は名前で照合いたします）。

※※ご注意※※

所属先機関が代理で振り込む場合は、振込人名義に個人名が出ず、どの方の入金か特定できないケースがあります。必ず、①氏名、② 会員番号と7桁の事前参加登録番号 ③入金金額、④代理人の振込名義を明記し、参加登録担当係までご連絡下さい。

○郵便振込：00810-4-36572

○ゆうちょ銀行 ○八九（ゼロハチキュウ）店 当座 0036572

外国語教育メディア学会中部支部

（フリガナ：ガイコクゴキョウイクメディアガツカイ中部支部）

振込期限：2017年7月26日（水） Payment Deadline: July 26, 2017

## 【出張依頼状 Letter of Request for Attendance】

出張依頼状が必要な方は、大会2週間前までに大会事務局に文書（封書）でお申し込みください。その際、宛名をお書きいただき、必要な切手を貼った返信用封筒を同封してください。なお、指定の書式がある場合は併せてお送りください。

宛先（Address）：〒461-0048

愛知県名古屋市中区東区矢田南4丁目102番9

名城大学ナゴヤドーム前キャンパス

北館5階 DN507 西尾研究室

TEL/FAX：052-768-5841

E-mail：ynishio@meijo-u.ac.jp

For those requiring a letter of request for attendance, please send a written application for one by post to the address above before July 21, 2017. Please include a self-addressed, stamped return envelope. If a certain form or format is necessary, please include it in your request.

### 【宿泊 Accommodation】

大会事務局では、宿泊の斡旋はしておりませんので、各自でご手配ください。

We cannot provide accommodation service through our association. Please make arrangements yourself.

## インフォメーション Information

### 【会場への交通 Access to the Venue】

会場に駐車場はありませんので、会場へは公共交通機関をご利用ください。

Please use public transportation to get to the venue. There is no parking available on the campus.



## 【インターネット The Internet】

発表会場のネットワークを介したインターネットへの接続は可能ですが、会場で情報をお知らせ致します。

The conference provides Internet services and give the information on the site.

## 【昼食 Lunch】

駅周辺では、お店やコンビニエンスストアがありますが、大学から駅まで徒歩で 10 分近くかかりますので、事前にお弁当を申し込まれますことをお勧めいたします。あるいは、お弁当を持参されることをお勧めします。

A convenience store and a lounge at the stations nearby are available, but it takes about 10 minutes on foot. We suggest you preregister the lunch boxes or bring your lunch.

## 【HP 等の写真掲載への承諾のお願い Permission regarding individuals on the Web】

本大会の終了後、発表会場や記念式典の様子を撮影した写真を大会 HP や会報に掲載する予定です。写真の掲載を希望されない場合は、事前に大会事務局（各種お問い合わせ：<https://www.let2017.net/modules/xpwiki/#w8a304f5>）までご連絡ください。ご連絡がない場合は承諾されたものとさせていただきます。

Photographs of the conference will be posted on the LET website and will be included in the LET newsletter. If you do not want to be photographed, please make sure to email and inform the conference secretariat (<https://www.let2017.net/modules/xpwiki/#w8a304f5>).

## 【発表者の方へ Information for Presenters】

### ■コンピュータ機器について

発表教室では、コンピュータからの映像出力、音声出力が可能となっており、RGB (VGA) ケーブルと、HDML が設置されています。コンピュータ機器を使用して発表を予定されている先生方には、原則として機器をご持参いただいた際の発表をお願いしております。

There are no PCs available in presentation rooms, but an RGB (VGA) cable and HDML cable from a computer are available. Please bring your own computer to present your work.

### ■機器接続確認について

大会当日はトラブルを避けるために、事前の動作確認をお願いしております。午前の部、午後の部共に、第 1 発表開始の 5 分前までを目安に、動作確認を完了させてください。

Please be sure to conduct your presentation checks in the presentation rooms 5 minutes before the first presentation in the morning or afternoon session of each day.

注) 機器の相性の問題等で、稀にプロジェクターから投影できない場合が生じます。万が一の事態に備えた発表準備をして頂けましたら幸いです。ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

Note: Due to unforeseen equipment failures or incompatibility of devices, you may not be able to project your slides in the presentation rooms. It is recommended that you prepare handouts just in case. Thank you for your time and understanding.

■ポスター発表者の方へ

ポスターの貼り付けは、7（月）午前10時までに行ってください。場所は4階です。13:00から14:05までが、ポスター前にて質疑応答の時間です。その後、ポスターをお取りください。Please put your poster on the board provided near the escalators on the 4th floor by 10:00 on August 7. The question and answer time (core time) is between 13:00 and 14:05. Please remove all materials afterwards.

【LET2017 第57回全国研究大会についてのお問い合わせ】

For more information on LET2017

大会期間中は受付、大会前と後は以下へご連絡ください。

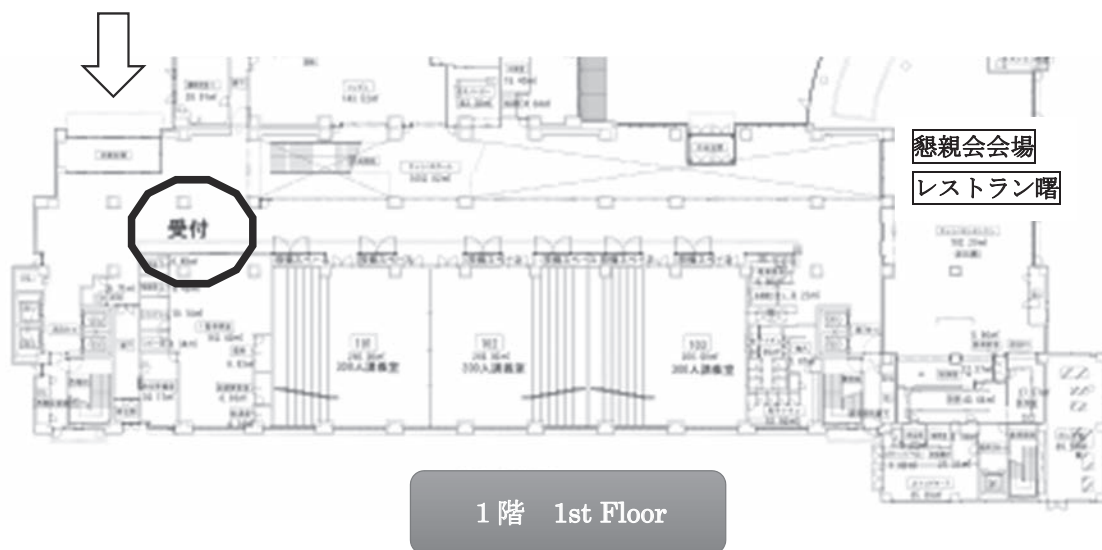
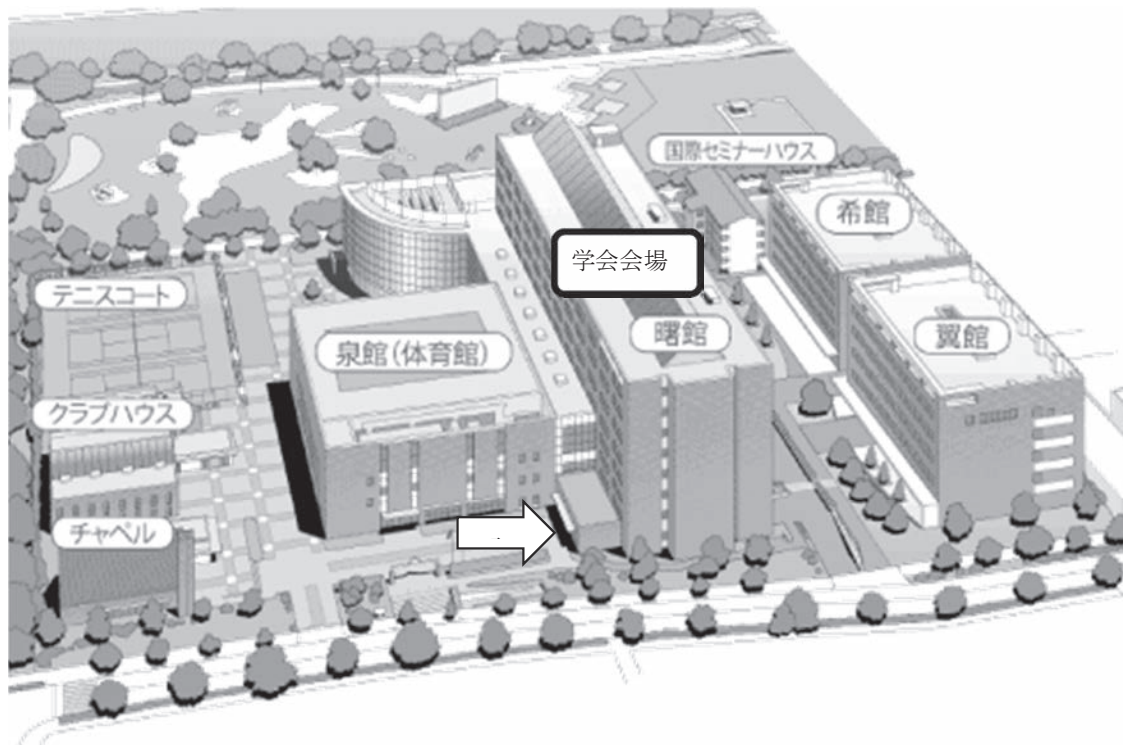
第57回(2017年度)全国研究大会実行委員会

各種お問い合わせ: <https://www.let2017.net/modules/xpwiki/#w8a304f5>

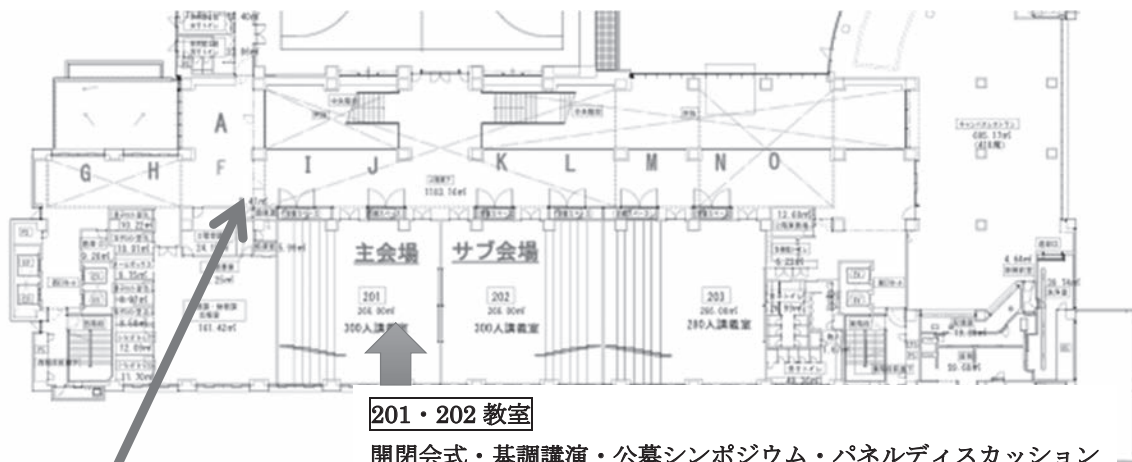
HP: <https://www.let2017.net/modules/xpwiki/>

# 会場図 Venue Map

名古屋学院大学名古屋キャンパス・白鳥学舎  
Nagoya Gakuin University Nagoya Shirotori Campus

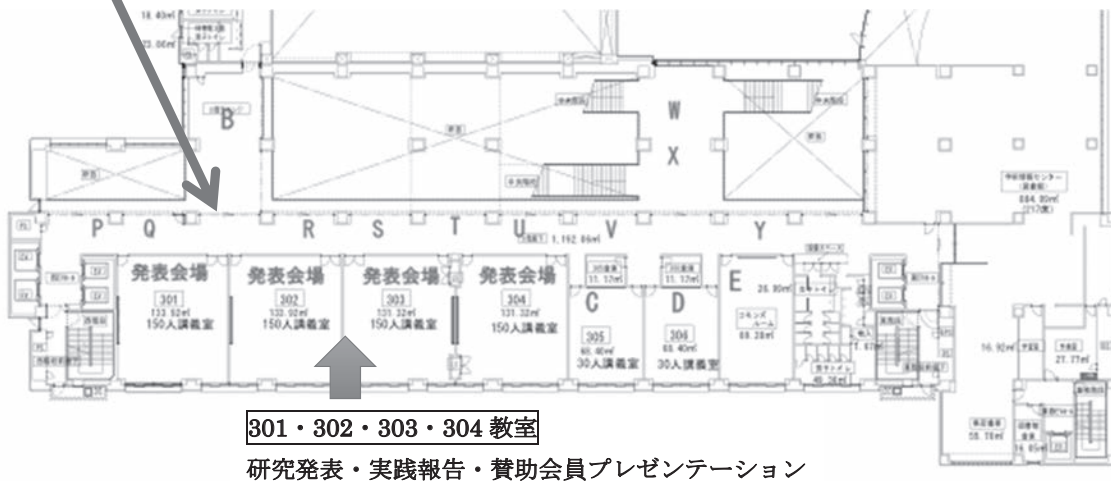




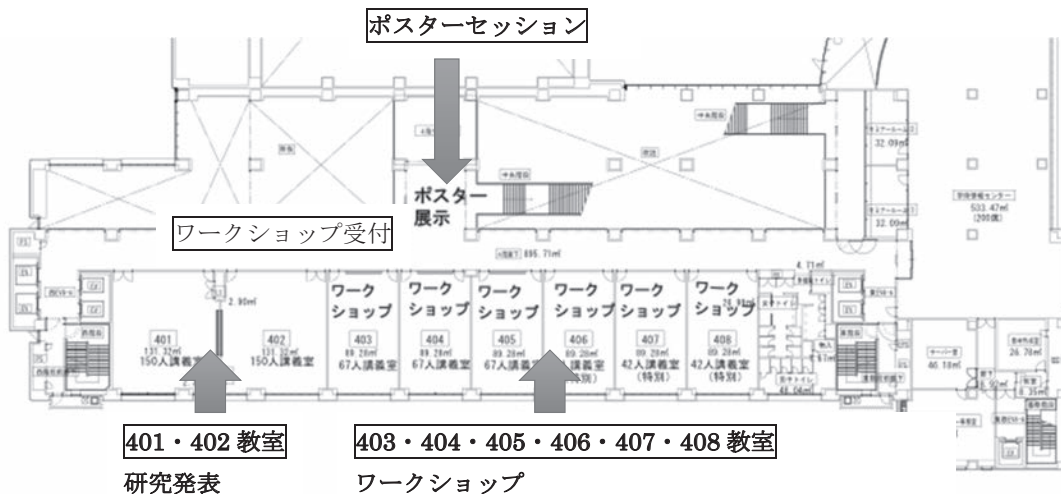


2階 2nd Floor

企業展示ブース

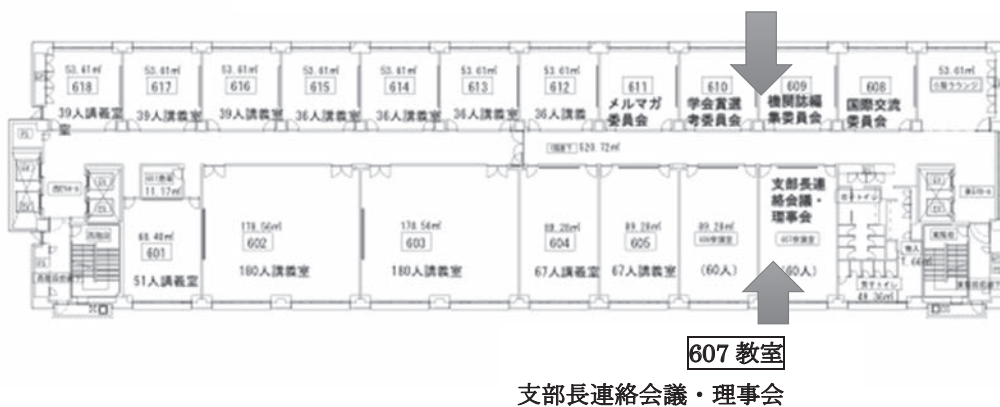


3階 3rd Floor



4階 4th Floor

611 教室      610 教室      609 教室      608 教室  
 メルマガ委員会・学会賞選考委員会・機関誌編集委員会・国際交流委員会



6階 6th Floor

**LET2017**